

## 【参考資料】

状況	想定すべきこと	提出書類
<p>疾患や障害などの診断がある</p> <p>継続的な服薬や治療が必要である</p>	<p>日本での生活環境は、母国のそれと大きく異なります。生活環境が変わることで、これまでになかった症状がでる、もしくは既存の症状が強くなることがあります。また、母国で受けていた治療などが日本では受けられない、もしくは代替の治療手段等を講じなければならないこともあります。</p>	<p>・診断書 ・処方箋</p>
<p>疾患や障害などの診断を根拠に、所属大学にて個別教員に支援や配慮を相談している</p> <p>疾患や障害などの診断を根拠に、所属大学にて合理的配慮を申請している</p>	<p>立命館大学で支援や配慮を受けるには、原則、学期開始時の申請をもって、それが合理的配慮と認められる必要があります。なお、合理的配慮の内容は、本学の基準及び日本の高等教育スタンダードの基準に基づいて判定されるため、母国及び所属大学での合理的配慮とは異なる可能性があります。そのため、現在母国および所属大学で受けられている合理的配慮が、立命館大学では認められないこともあります。</p>	<p>・診断書 ・所属大学で受けている合理的配慮の内容が記載された書類</p>
<p>疾患や障害などの診断はあるが、特段の支援や配慮を求めた経験はない</p>	<p>立命館大学での学び方は、母国及び所属大学での学び方とは異なります。学び方が変わることによって、母国及び所属大学では問題にならなかったことに困るようになるかもしれません。場合によっては、立命館大学で学ぶために、合理的配慮の申請が必要になるかもしれません。</p>	<p>・診断書</p>
<p>その他：疾患や障害などの診断はないが、修学や学生生活に関する著しい不安がある</p>	<p>立命館大学と母国及び所属大学では、学び方もキャンパス環境も大きく異なります。修学や学生生活について著しい不安を感じる場合は、あなたが取得する目標の単位数や立命館大学で実現したいことを整理のうえ、相談することをお勧めします。</p>	<p>・あなたが不安に感じていることを記載した書類（自由形式）</p>